

令和5年度第1回伊勢原市図書館協議会会議録

〔開催日時〕 令和5年7月13日（木）午後3時30分から

〔開催場所〕 伊勢原市立図書館会議室

〔出席者〕

（委員）

会 長 朝倉 徹

副会長 岩田 利通

委 員 板倉 博子

委 員 須永 尚世

委 員 落合 順子

委 員 石川 政行

（事務局）

教育長 山口 賢人

教育部長 大山 剛

図書館・子ども科学館長 林 かをり

専門員 細野 文和

会計年度任用職員 内田 淳子

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者〕 なし

《会議次第》

〈委嘱式〉

- 1 委嘱状交付
- 2 委員自己紹介
- 3 教育長あいさつ

《協議会》

- 1 開 会
- 2 役員を選出
- 3 会長・副会長あいさつ

4 議 題

(1) 図書館事業について

① 令和4年度事業報告

② 令和5年度事業計画

(2) 令和5年度主な取組について

(3) その他

5 閉 会

≪議事経過≫

1 開 会

(事務局)

過半数の委員出席（7名中6名出席）により協議会の成立について報告、また本協議会は原則公開であること、会議録は市ホームページで公開される旨を説明。

2 役員を選出

会長に朝倉委員、副会長に岩田委員を選出。

3 会長・副会長あいさつ

4 議 題

(1) 図書館事業について

① 令和4年度事業報告（資料：「令和4年度版 伊勢原の図書館」）

(事務局)

年度別利用統計、蔵書状況、令和4年度のあゆみ、読書啓発事業、市内小中学校との連携、障がい者サービス、市民ボランティアとの協働、ボランティア養成講座、電子図書館の取り組みほかについて説明。

【質疑応答】

(会 長)

令和4年度において、児童書の貸出冊数が過去最多という点について伺いたい。

(事 務 局)

令和3年度と比べると、小・中学生への貸出冊数が若干減少している中、未就学児への貸出冊数が伸びており、これは、保護者の取り組みが大きいと考えている。小・中学生への拡がりを期待したい。

(会 長)

ボランティアの取り組みの効果も大きいのではないかと。

(事 務 局)

ボランティア活動の影響は大きく、新型コロナウイルス感染症が収束に向かいつつある中、ボランティアによる事業の参加者数増が来館者増につながっていることが貸出冊数の伸びに反映していると捉えている。

(委 員)

図書館では、ボランティアが果たす役割が大きいと思う。朗読・録音ボランティア「野の会」の活動内容を伺いたい。

(委 員)（「野の会」所属）

主に視覚障害者のための音訳を行っている。依頼された図書を図書館で対面朗読するほか、希望する方には録音図書の作製を行っている。また、読書啓発事業である「子ども読書フェスタ」で、視覚障害の方が普段どのように耳で本を楽しんでいるのかアイマスクを着用することで体験いただくといった催しを行っている。

平成2年の会設立当初から続けている会員は2名ほどになる。視覚障害者の方に向けた「読む」技術を必要とすることから、基本的な講習を受講してからの入会となる。これが、会員数を増やす上で課題となっている。

② 令和5年度事業計画（資料：「令和5年度図書館事業予定」ほか）

（事務局）

令和5年度実施予定の事業、また伊勢原市立図書館開館35周年を迎えるにあたってのPRについて説明。

【質疑】なし

(2) 令和5年度主な取組について（資料：「第3次伊勢原市子ども読書活動推進指針」

「伊勢原市立図書館・子ども科学館個別施設計画(概要版)」ほか）

（事務局）

本年度スタートした伊勢原市第6次総合計画が、本市の市政運営における最上位計画である旨を説明し、その中で重点的な取り組みとして位置づけられている「電子図書館運営事業」について、また「図書館・子ども科学館施設長寿命化事業」については、施設躯体の劣化状況、目標使用年数80年に向けた修繕計画等を説明。

【質疑応答】

（委員）

シーリングや屋上防水の劣化、外壁のクラックなど、修繕について緊急性があるのではないか。また漏水は実際にあるのか。

（事務局）

図書館部分の漏水は限られた箇所のみの方、同じ建物内の子ども科学館ではプラネタリウム等でしばしば漏水が見られる。

（委員）

応急措置はなされているのか。

（事務局）

応急的な措置を行っても再発することが多く、原因を特定するには全体的に見ていく必要がある。本格的な修繕の開始は令和6年度からとなる。

（会長）

建物として凝ったデザインとなっていることも、修繕を難しくしている原因かもしれない。

（事務局）

開館から35年が経ち、経年による劣化もあり修繕の時期に来ているとも思う。

（会長）

「電子図書館運営事業」について、昨年、本協議会で学校連携の取り組みを伺った。タブレットの活用が読書や調べ学習に効果的なことは知られている。電子図書、或いはタブレットの活用といった方向に沿って学校連携サービスの充実に繋げてほしい。

（委員）

「図書館ニュース7月号」で折り紙お兄さんの記事を見た。どういった事業か。

(事務局)

折り紙の師範になった市職員を講師に迎え、幼児から小学校高学年を対象に夏休みの親子向け事業として開催を予定している。保護者の方と一緒に楽しもうといった企画で、今年度は初日に申し込みが定員に達した。夏休みに開催する「図書館員体験」に並ぶ好評な事業となっている。

(委員)

自分は、小学校で読み聞かせのボランティアをしている。昨年度から読み聞かせに来ていただいた子どもに折り紙の小作品を渡し、これが参加者増につながった。最近ではYouTubeで、分かりやすい折り方を紹介しており、私たちボランティアもレベルアップし大作が作れるようになった。大作は4回参加した子どもに渡している。こうした取り組みにより、昨年度20～30人くらいだった参加者数が170人ほど集まることもあった。参加者が増え、折り紙作品を用意するのも大変だが、楽しみにしている子どものため取り組んでいる。

(会長)

社会教育活動の一環として、取り組みを工夫し、様々に繋がりを拓けていくことはすばらしい。

(委員)

新型コロナウイルス感染症が落ち着き、子どもたちのイベント参加も日常に戻りつつあるかもしれない。

(3)その他

会長の承認による会議録の作成について、委員全員が了解。

午後4時30分閉会